

おもしろ「子ども科学・手作りおもちゃ体験」科

が考える…科学教育とは

*

<3つの分野>で楽しく活動!

目標は、子ども達に**<自信と意欲>**をプレゼント



■熱意があれば、誰でも**<楽しい科学教育>**ができる!



★「熱意があれば、誰でも…」と言っても、「経験がないとできない」と思ってしまいます。が、このフレーズは本当のこと。だれでも**その気になれば、楽しい科学教育は可能**です。★まずは、3つの分野から（実験・もの作り・科学読み物）一番取り組みやすいものを選び、「プランを学び！**模倣し！着実にスキルアップ**していけば良い」からです。★模倣による体験の積み重ねが基本!

板倉聖宣先生（理学博士・前日本科学史学会会長）の科学教育論で考えると…

科学教育：あなたはどの分野で活躍しますか！

①原理的な法則・概念を教える授業

★**科学実験**…私（音田）の場合は、**<仮説実験授業>**の実践

②技術的な法則・技能の重要性を教える授業

★**もの作り**…科学工作・おもちゃ作り・おりぞめ…などの実践

*<SA子ども教室>には、<もの作り>のプロ講師（佐藤様・高松様）がいます。まずは**基本をしっかりと模倣して**多様なスキルを自分のものにしてください。

③科学の発展に対する広い視野をあたえるような授業

★**科学読み物・総合読本**…視野を広げる読書活動などの実践

★「広い意味での科学教育」は、3つの柱で成り立っています。

③の分野は、まだ具体的な実践はできていません。が、「科学読み物（読書）に積極的に目を向けることができるような楽しいキッカケ作り」には引き続きチャレンジします。

（詳細は25日に!）★**25日から<もの作り>が始まります。**



■出会いの授業・・・今年も＜ボタンとコロリン＞で楽しく実験！

今回は、＜雨樋実験＞を追加。私にとっても新作実験！成功してニッコリでした。

【研究問題】

長さ2mぐらいの雨どいを斜めにして立てかけて置き、下の端に立てたろうそくに点火します。

次に広口のビンにライターやカセットコンロ用のボタンガスを入れ、雨どいの上の端で逆さまにし、ボタンガスを雨どいにこぼします。すると、ボタンガスはどうかと思いますか。

予想

- ア、ろうそくの火が消える。
- イ、ろうそくの近くで炎が高く上がる。
- ウ、炎がといを伝ってかけ上がる。
- エ、ポーンと音がして一瞬で爆発する。

★ろうそくの火も消えました。予備実験では成功したのに。面白い！

★どうしてそう思いますか、みんなの予想を出し合ってから実験してみましよう。



■4月27日、28日＜長居植物園スプリングフェア＞に参加しませんか！

「多様なくもの作り」体験を子どもたちに！」を合言葉に、今年も＜長居スプリングフェア＞が開催されます。＜高大・SA子ども教室OBG会＞も（代表・藤澤健二）も1ブースを担当します。

皆さんも一緒に楽しみませんか！



●以前の記録では、①入園者数：4月29日(土) **5383名** 4月30日(日) **7238名**

②実施内容・**高大ブース体験者** *ストローロケット：600セット *紙皿回し：400セット ●2019年度は、＜スライム＞と＜クルクル磁石人形＞作りで楽しむ予定。●皆さんも楽しい＜長居スプリングフェア＞に参加してボランティア活動活動を楽しんでください。